



「これからの民商」「拡大」について論議  
第1回理事会(6月23日民商事務所2階)

支部では、常任理事会の「毎月前進を」の提起を受けて業者訪問などの行動を計画し奮闘。6月は、会全体の会員3名読者8名のうち会員1名読者3名を拡大し会の先頭にたつて奮闘しています。

6月18日に行った業者訪問では、ある新規開業の喫茶店で対話がはずみ、民商の入会をすすめながら商工新聞の購読をお願いすると検討を約束。

月末に、再度訪問し感想など聞きくと快く購読してくれました。その方には、自主記帳のことなど民商の魅力もお伝えして入会も検討して頂くようにお願いしました。

更に、港民商から「社会保険が払えなくて困っている人がある」と連絡が入り、早速支部で相談会を開催。

実情を聞きながら「入会して一緒に頑張りましょう」と励まし、再度相談に来ることを約束。6月30日には、「民商に入会をして頑張りたい」と本人から連絡が入ったのでさっそく訪問し、入会して頂きました。

支部での訪問や相談活動が拡大につながり、地域に根差した活動の大切さを実感しました。

## 支部の行動が會員・読者を拡大!

## 国保改善運動交流会に参加!

三浦副会長が「滞納差し押さえについて」発言

6月28日(土)愛知社保協の主催で「国保改善運動交流会」が名古屋港湾会館で開催されました。全体で一〇〇人ほどが参加。名古屋南民商からは、三浦副会長、手嶋婦人部長をはじめ7名が参加しました。

最初に津市立三重短期大学教授の、長友薫輝氏が「国保制度改善の課題」の記念講演をしました。ここでは、社会保障制度のあるべき姿と、広域化の問題点が指摘されました。次に、参加者の報告がなされ、三浦副会長が「滞納差押対策」について話をしました。滞納整理機構ができてから、差押が急速に増えてきた実態を説明しました。対策として、鳥取の差押禁止財産

7月2日(水)に「中小業者のためのパソコン教室」が昼、夜名古屋南民商事務所でスタートしました。

「パソコンで記帳ができるようにしたい」「自分で決算までやれるようにしたい」など声にこたえて企画したものです。昼の部3人夜の部8人が参加しました。

## 中小業者のパソコン教室開かれる

第1回目は、「民商でなぜパソコン教室のやるのか」「パソコン記帳で自主計算・自主申告を貫こう」という話や「パソコン記帳」と言えど、まずは簡単な簿記から始めましょうと簿記の原則を学習しました。

ほとんどの方が、「簿記は初めて」という方ばかりで、「貸借対照表」や「損益計算書」という言葉や「仕分けをする」など耳慣れない言葉に戸惑いながら真剣にメモをとってみえました。参加者も、



南区減免の会の取り組みも発言する三浦さん

## 「海外で戦争する国」への歴史的暴挙に直ちに抗議し、「閣議決定」撤回を求めましょう!

安倍内閣は、7月1日(火)多くの国民の反対を押し切って、「憲法を破壊し、『海外で戦争する国』をめざす」集団的自衛権行使容認にむけた閣議決定をしました。

これは、「憲法9条の下では武力行使できない」とするこれまでの政府見解を180度転換し、「海外で戦争する国」への道を開くものです。また、閣議で憲法の解釈を変えてしまうという憲法破壊の暴挙でもあります。

日本は今、「戦争か平和か」をめぐる戦後最大の歴史的岐路を迎えています。この戦いの最終的な行方を決めるのは、国民の世論と運動です。

直ちに、「憲法署名」を集めながら世論を広げつつ、首相、自民党、公明党に抗議しましょう。

FAX: 首相 官邸: 03-3581-3883、

自民党本部: 03-5511-8855

公明党本部: 03-3225-0207



熱心に講義を聞く参加者

「とにかく一生懸命学びます」  
「その時間は優先的に時間を作って参加します」と意欲満々でした。

次回からは、いよいよソフトのインストールから実践です。